

女性消防団員募集!



私たちと一緒に活動しませんか!

●下呂市の女性消防団員が
ひとつになりました

本年度4月より、これまで各方面隊で活躍していた女性消防団員がひとつになり、女性分団として始動しました。

●女性の力で地域を守る
今こそ 女性消防団員が
必要とされています

少子高齢化の中、若年層の団員確保は年々困難になっています。また、災害に直接に対処するだけでなく、高齢者や地域社会における火災予防活動を重視しなければいけないようになってきています。

このような状況下で、女性ならではの能力を発揮した、広報活動や火災予防活動など、女性消防団員の活躍が大いに期待されています。

下呂市では女性団員を募集しています。自分たちでやりたいことを自分たちで考え実行します。女性ならではの目線で、下呂市の安心・安全、市民の生命・財産を守るために、なにかができるか。一緒に考えて活動しませんか。

【消防本部 消防総務課】

下呂市消防団員募集中!

【入団概要】

消防団の入団資格は、18歳以上で、下呂市に居住または勤務している人なら、男性でも女性でも入団できます。消防団には、会社員、自営業者、主婦など、様々な方が集まって地域の防災のために活躍しています。消防団にはあなたのチカラが必要です。ぜひ消防団員として活動してみませんか?

女性消防団員になるには

女性消防団員も男性消防団員と同様、入団は本人の意志によります。

入団を希望したい、関心があるという方は下呂市消防本部(消防団担当係)、または各振興事務所消防担当にお問い合わせください。

下呂市消防本部総務課 ☎ 25-5119



市有地有効活用研究会 からの提案について

平成25年度5回にわたり市有地有効活用研究会が開催され、この度市へ協議結果について提案がありました。

※この研究会は下呂温泉病院が移転することに伴い、同跡地の活用方法について検討を行う中で、近隣の空いている市有地も含め、市全体の活性化や産業振興を見据えて総合的に利用方法を考えるべきことから、広くご意見・ご提案をいただくために、市が主催し開催したものです。メンバーは各団体の代表者の方や一般の参加者の方を募り、26名に参加いただきました。

提案書の主な内容は次のとおりです。

【市有地の役割】

○下呂市全体に資する活用を！

○将来を見据え、持続可能な活用を！

○暫定利用をするなど無駄のないスピーディーな活用を！

【中心部の活用コンセプト】

「跡地」から「下呂市全体」を活性化！

～市民みんなでオール下呂のまちづくり構想～

中心部だからこそ、波及効果があり周辺にも喜んでもらえるような逆転の発想ができないか？

この跡地活用をきっかけに、「下呂市がひとつ」になって、各地域の個性や強みを活かし合える、そんな市全体の活性化につながるまちづくりの構想を提案する。

【基本方針】

●幸田地区

①駅に近いという立地特性を活かす。（人が集まる・利便性が高い）

②A・Bの敷地を一体的に整備しながら「複合施設」に。

③病院に代わる「地元の雇用や経済に貢献」する施設の導入。

●森地区

①市外からの「集客の総合拠点」に（市全域観光の中心）

②まち歩きの見どころとして、駐車やイベントもできる「多目的広場」を

③点在する市有地を「一体的」に活用（土地交換や連担を含め検討）

【具体的な活用方法】

●幸田地区

①高齢者・介護など福祉施設

②観光ターミナル＋駐車場（交通・情報・商業拠点）

③市庁舎

④温泉を活用した健康施設（温水プール、クアハウス等）

⑤暫定的な体験交流施設（エアハウスで苺摘み取り等）など ※いずれにしても「複合施設」に

●森地区

①温泉横丁II食と物産の観光拠点（市全域のアンテナショップ）

②駐車場と兼用できる多目的広場

③新たなランドマークとなる外湯

④まち歩きの拠点施設（森湯之島）

⑤子ども遊び場＋集客施設（温泉横丁等）の複合など

※幸田地区とあわせて「相互補完的な機能導入」を

【今後に向けて】

①集客と交流人口の拡大～時間消費型の観光へ

②ターゲットの明確化～導入機能の絞り込み

③予算・資金計画と事業主体（担い手）の選定

市はこの提案を受け、今年度計画づくりを行うこととしています。

（提案の詳細はホームページをご覧ください）

【経営管理部・総合政策課】



記号	名称	敷地面積
A	下呂温泉病院本館	5,078㎡
B	下呂温泉病院リハビリ棟	3,225㎡
C	旧ホテル下呂館	1,430㎡
D	旧ホテル下呂館駐車場	2,093㎡
E	あさぎり荘跡地	1,646㎡